



ふくせん SV 養成研修修了者 ケアマネ更新研修で活躍のご報告 山形県ブロック・神奈川県ブロック



【山形県ブロックの報告】

10月26日、11月14・15日の3回、山形県ブロックでSV養成研修修了者である池田浩一さん(株タマツ所属)が山形県介護支援専門員協会からの依頼により、「山形県介護支援専門員研修 専門研修課程(更新研修)」で福祉用具専門相談員が講師を務められる分野において講師を務めました。

山形県介護支援専門員協会から本会のSV養成研修修了者を講師として紹介依頼があり、実現しました。

山形県内のSV修了者としての名簿登録は池田さんお一人だけでしたので、今回の依頼に対して3回とも池田さんをお願いすることとなりました。

【池田浩一さんのコメント】福祉用具専門相談員が、ケアプランを元に福祉用具サービス計画書を作成する上での視点や注意点を、事例を元に発表しました。リハ職や、他サービス事業所との連携などを紹介し、選定理由や留意事項等の情報共有の大切さを伝えました。自分らしく自己決定し住み慣れた家で自立して過ごすために、環境整備や福祉用具の確かな選定、福祉用具専門相談員の役割の大切さについて自分の思いとともに伝えました。

【神奈川県ブロックの報告】

12月15日、ふくせん会員であり、神奈川県で活動している廣瀬智也さん・荻原 崇さん(お二人とも株ヤマシタコーポレーション所属)が、「平成28年度神奈川県介護支援専門員研修 専門研修課程Ⅱ(更新研修32時間)」の1コマにファシリテーターとして参加しました。

当日は、ふくせん理事の渡邊慎一氏も「リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例」を講義され、『在宅復帰にはリハビリテーション、環境整備そして福祉用具の導入が不可欠。福祉用具の導入には、福祉用具の専門家である福祉用具専門相談員にアドバイスを受けたほうが良い。また、彼らは多くの研修を受講しスキルアップを図っている。SV養成研修もそうですし、研修ポイント制度の会員です。ここに参加されているケアマネジャーの皆様も明日以降でも、彼らの研修実績である記録をふくせんのHPから検索してください。』と、講義の中でふくせんのことを、そしてファシリテーターの方々のアピールもしていただきました。参加したお二人からのコメントは下記のとおりです。

【廣瀬智也さんのコメント】

ファシリテーターとしての役割だけではなく、福祉用具専門相談員の業務を行っている自分たちだからこそ福祉用具の重要性、多職種連携の重要性を伝えることが出来るよう研修に望みました。また、客観的にワークショップでの議論を聞き、福祉用具専門相談員がご利用者をケアするチームの一員として活躍するために、ご利用者、ご家族の意向、希望を正確に理解する。その上で根拠のある用具の選定、提案を継続的に行っていくこと、多職種に専門相談員としての意見を発信することの大切さを改めて感じました。

【荻原 崇さんのコメント】

自ら活動している地域のケアマネジャーに今回のような取り組みを伝えたところ、多くの方から、知識や経験を評価してもらうことができました。多くのケアマネジャーと話をすることで、現場業務での取り組みに活かせる事柄も多々ありました。所員に共有することで、より成長していける機会となりました。福祉用具や環境整備の視点から、物事を捉えるだけでなく、ケアマネジャー視点を知る機会にもなりました。また、環境整備や福祉用具の視点をケアマネジャーに認識してもらうには、どうしていけば良いか考えるきっかけにもなりました。



H28年度のSV養成研修は東京会場の1回のみで、平成29年1月20・21日(金・土)に開催を致します。1月のお忙しい時期の開催となり誠に申し訳ございませんがお申込をお待ちいたしております。